

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	91	学校名	仙台市立根白石小学校	校長名	當房 正浩
------	----	-----	------------	-----	-------

かむり — 冠川 ふるさとのめぐみをこれからも —



1 はじめに

根白石小学校の周りには、泉ヶ岳、そこから流れてくる七北田川をはじめとする河川、水田やそれを潤す用水路がたくさんあります。そこに見られる動植物の生態系から自然の豊かさを感じることができます。オタマジャクシやカエル、川魚や野鳥、蛇などの生きている姿を見ることで、自然界の厳しさを知ったり、里に下りてくるイノシシや熊などの情報から私たち人間が自分たちの都合で動物たちのすみかを侵している現実を感じたりします。そんな日常の体験が子供たちの中

の「この自然を守りたい」という意識につながっていると思います。その意識を実際の行動につなげるために根白石小学校では次のような取組を行っています。



2 4年生の取組 — 「ふるさとの川をたんけんしよう」 —

根白石の学区には、たくさん水田があり、多くは冠川（七北田川）から水を引いています。4年生の総合的な学習の時間の柱の一つに「ふるさとの川」を探検する活動があります。冠川流域の環境を知り、環境保全の気持ちを高めることをねらいとし、学習を行っています。地図や本、インターネットを活用しての調べ学習では、日頃、水田周りの用水路を見ながら登下校している子供たちでも、知らないことは多く、新しい発見に関心を持って取り組みました。

そして、最も子供たちに気付きや疑問をもたらしたのは、実際に冠川流域で行われた、体験的な校外学習でした。「冠川たんけん」では、川の水や石、泥や苔、魚や水生昆虫などに直に触れ、いくつもの疑問を感じたようでした。きれいな水を好む生き物と汚い水を好む生き物が混在していたこと、上流と下流の透明度の違い等です。「なぜ」との思いは強まり、川を汚くする原因を予想し、川のきれいさを調べる方法を考え、川をきれいにするために自分たちができることを探し、皆で問題解決を図りながら追求していきました。



また、江戸時代に作られた「福岡大堰」の校外学習では、「くぐり穴」や「狭間」を近くで目にする事ができました。低いところを流れる冠川から水を引くことの困難さ、工事の困難さを実感したようでした。幾度となく修理、改善され、現在に至ることから、先人や地域の方々の苦勞の先に、今の豊かな水田や地域があることに感銘を受けたようでした。冠川と地域とのつながりの深さや歴史、その存在の大きさを改めて理解、実感するとともに、冠川を大切に思う気持ちもより一層強くなったように感じます。

3 水の恵みをこれからも

冠川の水の恵みや自然を守ってきたふるさとの先人たち、今現在、力を尽くしている地域の方々の姿から、児童自らが自然と人々の生活のつながりを学び、地域の一員として環境を守ろうとする気持ちや実践力を高めることができていると思います。これからも学校教育全体をとおして、地球環境にやさしい学校生活や環境保全について考え、自然のために何ができるのか追求し、主体的に実践できる児童を育成していきたいと思っています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	93	学校名	仙台市立福岡小学校	校長名	阿部 英徳
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル 地域と関わり自然と環境を大切にする児童の育成



2 取組の紹介

○学童農園での栽培活動

本校では、学童農園（水田）で米の栽培を行っています。毎年、全校児童で5月に田植えをし、9月に稲刈りを行います。地域の環境保全会の方々に、田植えや稲刈りのコツを教えていただいたり、保護者と一緒に活動したりすることで、地域の環境に目を向け、人と関わりながら自然に親しむ取組を行っています。



学童農園（畑）では、じゃがいも、さつまいも、枝豆、大根、白菜を育て収穫しました。野菜の成長を実感する体験をおし、食物に感謝する気持ちを持つことができました。

12月の全校感謝の会では、栽培活動等日頃お世話になった方々をお招きし、感謝の気持ちを伝えました。低学年では、農園を貸してくださっている石川さん御夫妻をお招きし、収穫したお米や野菜を使っておにぎりやお味噌汁を作りました。



○グリーンカーテン

毎年、1階教室前にグリーンカーテンを作り、省エネ対策に取り組んでいます。



○ごみの分別回収

各学級でごみの分別を行っています。普段からごみの分別を意識して生活しています。



○健康委員会の活動

テープの巻芯回収を呼び掛けるリサイクル活動に取り組みました。『緑を守る取組』に役立ててもらいます。

3 取組の成果（児童の変容）

特色を生かした全校での米作りや野菜作りをとおして、保護者や地域の方々との絆に気づき、自然豊かな地域を大切にしようとする心が育ってきています。ゴミの分別やリサイクル活動に取り組むことで環境を大切にする事、栽培活動とおして自然や命を愛護する大切さを学ぶことができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	94	学校名	仙台市立黒松小学校	校長名	高橋 美奈子
------	----	-----	-----------	-----	--------

- 1 取組のタイトル, テーマ
緑を増やして, クリーンエネルギー



2 取組の紹介

① 学級での取組

- ・節電を考え, 移動教室の際は係の児童が電気やヒーターを消すように指導して, ついたままにならないようにしました。
- ・各教室に可燃ごみ用とプラスチックごみ用の二種類のごみ箱を設置し, 分別して捨てるよう取り組みました。

② 学年での取組

- ・4年生では, 理科の学習と関連付けて, グリーンカーテンを作りました。ヘチマの苗植えから児童が行い, 毎日欠かさず水やりも行いました。高さは地下1階から校舎の3階まで伸び, 広い範囲を覆うことができました。また秋には, ヘチマの実を利用し, スポンジにして家庭で使えるようにしました。
- ・「シンプルスローアンドライフの会」の方に出前授業に来ていただき, 身近に植物があることで自分たちの生活がどう保たれているのか, 植物の働きについて分かりやすく授業していただきました。苗を植えるところから学習を始め, 1年を通して児童は学びを深めることができました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- ・学級ではゴミの分別の意識が高まりました。掃除の時は, 集めたゴミを分別してから捨てる姿が見られます。
- ・学年でのグリーンカーテン作りでは, 児童が意欲的に活動に取り組み, 達成感を持たせることができました。児童はヘチマを苗から育て, 蔓が伸び, 花が咲いていくことで充実感を味わうことができました。
- ・家庭でもグリーンカーテンを作ったという児童の声もあり, 今後も様々なところで身近な植物と自分たちの生活とのかかわりについて考えさせることが大切だと感じました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	95	学校名	仙台市立南光台小学校	校長名	根本 弘美
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

地球の環境を守るために、今わたしたちにできること



2 取組の紹介

【学習活動での取組】

○ 総合的な学習の時間「環境について学ぼう」(4年生)

キリバス共和国からケンタロ・オノさんをお招きし、環境についての講話をお聞きました。人間の暮らしが招いた地球温暖化により海面が上昇し、キリバスという国がなくなってしまうかもしれないという内容に、子供たちは大きなショックを受けました。「自分たちにできることはなんだろう」と考えるきっかけになりました。



「電気はどうやってつくられるのかな？」
東北電力の方から、エネルギーに関する授業をしていただきました。手回し発電機を使って、蛍光灯やLED電球のつき方の違いを体験することができました。宇宙から見た夜の地球の中で、日本がとても明るくなっていることに驚き、どれだけ多くの電気を使っているかを気付くことができました。

気仙沼で活動している「浜わらす」の方から、海ゴミに関する環境問題のお話をうかがいました。宮城県内の海ゴミの現状についての講話の後、実際に浜辺で拾ったゴミを見せていただきました。たくさんのゴミが海に流れ着いていることを知り、環境問題は、自分たちの生活と大きく関わっていることに気付くことができました。



【学校での取組・委員会活動】

○ プルタブ回収

けやき委員会では、毎年プルタブ回収に取り組んでいます。集まったプルタブは、取引業者を通じて現金化し、全額ユニセフに募金しています。今年度は130キログラムを目標に、5、6年の委員が全校に呼び掛け、多くのプルタブが集まりました。保護者の皆様にご協力をいただきながら、活動が続いています。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

今年度は、SDGsという言葉もよく耳にするようになったため、児童は環境学習に対して意欲的に取り組むことができました。環境問題を自分の身近な問題として捉えるようになったことが大きな変容です。今後は全校でのエコ活動にも、この学びを広げていけるようにしていきたいと思えます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	96	学校名	仙台市立将監小学校	校長名	斎藤 晴彦
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

私たちの地域をきれいに～環境教育～



2 取組の紹介

○ 5学年 総合的な学習の時間 七北田川水質調査

5年生では、「環境を守る」をテーマに学習を進めてきました。その第一弾として、七北田川で水質調査を行いました。10月と、少し肌寒い時期の活動となりましたが、子供たちは元気に活動を行っていました。そして、七北田川の水質や、そこに住む生き物たちの実態を調べることをとおして、川の豊かさを守るために自分たちにできることは何なのか、考えを深めることができました。



○ ボランティア委員会の取組

今年度、ボランティア委員会では、校内美化活動の一貫として「おもてなしアートプランター」の事業に参加しました。植え付けから絵付けまで自分たちの手で行うことで、より一層愛情をもって植物の世話をすることができました。来年度の春に球根が芽吹くよう、引き続き活動を行っていきます。最終的な完成まであと少し。子供たちもわくわくしながらその日を待ち望んでいます。



○ 全校児童による取組

児童会活動として、校庭の除草作業と石拾い及び地域清掃活動を行いました。今年度も全校一斉や縦割り活動で行うことはできず、各学年に分かれての活動になりました。地域清掃活動は落ち葉のシーズンに行い、低学年は学校周辺の道路、中高学年は通学路や公園を清掃しました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

日頃お世話になっている地域の方への感謝の気持ちを、清掃活動をとおして表すことができました。また、七北田の水質や生物調査を毎年行うことで、学校と地域だけでなく、身近な自然や環境を守っていこうという気持ちが高まりました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	97	学校名	仙台市立向陽台小学校	校長名	高橋 義肖
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

向陽台の自然を大切にしよう



2 取組の紹介

① 大きく育つヒマワリ

2年生は生活科の学習で、向陽台小のシンボルであるヒマワリの種まきを「向小の森を育てよう会」の皆さんと行いました。種まきをした後は、「向小の森」と道路から見える場所の二カ所に定植を行いました。道路から見える場所への定植は「学校の前を通る人も明るい気持ちになれるように」という思いから、一昨年度から行っています。元気にすくすくと伸びたひまわりを見ながら、子供たちも元気に過ごしていました。



② 向小の森

校庭の一角には「向小の森」があり、子供たちの憩いの場になっています。子供たちが足しげく通うことで、季節ごとの生態系や植物の変化を身近に観察することができました。また、5年生の児童は総合的な学習の時間に「向小の森」について調べました。「向小の森」づくりに携わった方から設立の趣旨を教わり、様々な人が思いや願いを持ってできた森であることを知りました。そして、その思いを受け継ぎ、「向小の森」をより良くするために自分たちに何ができるのかを考えました。他学年の意見も取り入れながら話し合い、実践を進めているところです。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- ① 自分たちでひまわりを植えたことで、植物への興味関心が深まりました。また、ヒマワリがよく育つよう一緒に手入れをしてくださった、「向小の森を育てよう会」の方々への感謝の気持ちを持つようになりました。
- ② 児童は、四季をとおして、向小の森の自然に親しみながら生活しています。四季折々の植物や昆虫などを知り、観察したり飼ったりすることで、動植物への興味関心を高めました。また、5年生は総合的な学習の時間で取り組んだことで、自分事として「向小の森」をより良くするためにできることを考えることができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	98	学校名	仙台市立将監西小学校	校長名	高橋 興
------	----	-----	------------	-----	------

1 取組のタイトル、テーマ

「自然と関わり、環境を考える心を育てる取組」



2 取組の紹介

(1) 水を温め、生活を豊かにする工夫

全校で、掃除で使う水を温める工夫について考え、取り組みました。各クラスでペットボトルに黒いテープを貼り、朝のうちに水をくんで南側の窓辺に並べました。昼掃除の時間までに水は十分に温まるので、雑巾バケツに注いで温かい水で拭き掃除の雑巾を洗うことができました。特に冬場は、温かい水で掃除ができることに感謝の気持ちを持つとともに、太陽光のエネルギーを体感する機会となっています。



(2) グリーンカーテンで憩いの場づくり

校庭の脇の畑で、3年生と4年生が、ヘチマ、ゴーヤ、キュウリを育てました。元気に伸びていくつるをネットにはわせ、グリーンカーテンを作りました。校庭で走り回って汗を流した後は、グリーンカーテンの下で一休み。上を見上げると、大きく育ったヘチマがあったり、ハリセンボンのようなゴーヤを見付けたりして、涼しさの有り難みと自然の恵みに気付いていました。子供たちのお気に入りの場所になっていました。



(3) 七北田川の水質調査

4年生が七北田川の上流と中流の水質調査をしました。生き物の種類で水質を調べることができることや、水の透明度と水質を測る方法を学びました。調べた結果、七北田川がきれいな川であったことが分かり、七北田川とともに生活している自分たちに誇りを持ち、これからもこの環境を大切にしていきたいという思いを高めました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

自然とともに、自然の恵みを実感する活動をとおして、子供たちは、普段何気なく生活していた中に自然との関わりがたくさんあることに気付きました。今年の経験を生かして、太陽の日差しで暖房を節約できないか、来年はどんな植物を植えようかなど、これからの計画を考えています。来年度も身近な自然と関わり、環境について考える子供たちを育てていきたいと思ひます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	99	学校名	仙台市立南光台東小学校	校長名	工藤 良幸
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「笑顔と花いっぱいのエコ・スクール」



花いっぱい活動



2 取組の紹介

・古紙回収（通年）

今年度も各学級で古紙を集める活動を行った。環境委員の5、6年生が回収し、その重さを報告するなどして、古紙回収の呼び掛けをして全校で環境についての関心を高めた。

・小中連携地域ぐるみ清掃 11月11日（金）

（共催：南光台東中学校区地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会）

児童生徒が地区ごとの班に分かれ、町内会の方々と一緒に公園などの地域清掃を一斉に行った。地域の方やPTAの方や、子ども会役員さん、班のリーダーや中学生の掛け声で、お互いに協力し合って作業に取り掛かり、公園の落ち葉を拾った。

・花いっぱい活動週間 6月13日（月）～17日（金） 10月17日（月）～21日（金）

年に2度、校内緑化活動を行っている。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、児童のみでの実施となった。各学級で活動時間をずらし、密にならないように気を付けての活動となったが、事前に話し合った花壇設計になるよう、苗の配置を工夫して活動をする姿があった。活動後は、環境委員が中心となって毎日水やりや草取りを行い、花壇の維持や環境の美化に努めた。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

<古紙回収活動>

- 各学級で古紙回収継続的に取り組むことで、分別やリサイクルの大切さを再確認する活動になった。

<小中連携地域ぐるみ清掃>

- 学区内の園を地域の方々と一緒に清掃することで、地域の環境美化について考える活動になった。また、公共の施設を大切にすることを更に養わせることができた。
- 地域の方々と触れ合う良い機会となり、児童生徒と地域とのつながりを実感する場になった。

<花いっぱい活動>

- PTAが準備した花苗を全校児童で植える活動をとおして、保護者にも学校美化について関心を持ってもらうことができ、児童も学校環境を整える意義を改めて感じ取ることができる活動になった。来年度以降も継続して実施していく予定。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	100	学校名	仙台市立高森小学校	校長名	熊谷 礼子
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

～自然・花と一緒に 笑顔いっぱいの活動～



2 取組の紹介

① 花植えネットワーク

高森小学校の児童と保護者、高森小学校区の地域の方々が連携して、学校近くの通学路の街路樹の花壇73カ所に、春と秋の2回、土作りと花植えを行っています。1年中、登下校の児童や地域の方々の心を和ませてくれています。主に休日の作業となりますが、地域や学校のために心を込めて活動する児童の姿が見られました。

② 学校農園での野菜の栽培

校内にある畑を活用し、2年生が生活科でサツマイモ、3年生が理科でキャベツ、特別支援学級でピーマン・キュウリなどの夏野菜を育てました。観察を行ったり、草取りや水やりなどのお世話をしたりしました。

③ 巣箱づくり・巣箱設置・野鳥観察

3年生が「総合的な学習の時間」で、「大好き高森！」をテーマに、自然豊かな高森地区について調べました。その活動の中で、「高森ふるさとづくりの会」や、「宮城県野鳥の会」の皆さんに御協力いただき、巣箱づくりや校庭の木の巣箱の設置、学校近くの公園を散策しての野鳥観察などを行いました。昨年度の3年生が設置した巣箱を取り外し、巣箱に鳥が巣作りをした跡や、卵がふ化した跡を観察することができました。

④ 環境委員会による花壇の水やり

学校の花壇には、春と秋の2回、花を植えています。今年は、春に、マリーゴールドやブルーサルビアなどを植え、秋に、ビオラやノースポールを植えました。環境委員会の子供たちが交代で朝や、休みに水やりなどのお世話をしました。植え替えの際には、花壇の整備や、チューリップの球根取りなどの作業も行いました。



通学路の花壇の水やり



花壇の整備



学校農園の水やり



野鳥観察会

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

花植えネットワークで植えた街路樹の花壇や学校の花壇では、季節ごとに美しい花が見られ、地域の方々や、子供たちの心を和ませていました。校内の花壇では子供たちが積極的に花を見たり、触ったりなどし、自然に親しんでいました。花壇があることで、昆虫やは虫類などの生き物も自然と集まり、子供たちが関わることができました。野鳥観察では、地域の方々と触れ合いながら、普段あまり気にかけていなかった地域の鳥に興味関心を持つ児童が増え、鳥の声を聞いたり、飛んでいる鳥を見たりしています。今後も地域の方々とつながりを大切にしながら、自然を大切にする心を育てていきたいと思えます。